

- ◆企画名 ジャグリま専科 KU シンフォニーホール公演 2011
『ジャグ専門学校～世界一ジャグりたい専門学校～』
- 日 程 平成 23 年 12 月 10 日 (土)
- 場 所 KU シンフォニーホール
- 参加者数 約 140 名 (ピア・サポータ 4 名、一般学生 40 名、観客約 100 名)
- 目 的

ジャグリま専科の公演は一昨年、去年と実施されており、非常に好評であった。

ジャグリま専科の学生は今年度も公演を行いたいと思っているもののジャグリま専科は未届出団体であり、独力で公演場所を確保し公演を実施することは困難である。

本企画は公演を実施するためにサポートして欲しいとの要望を受け、企画したものである。サポートすることでジャグリま専科の学生が日頃の練習の成果を発揮できる場を提供すること、観客として企画に参加した学生にはあまり見る機会がないであろう未届出団体の活動を実際に見ることが出来る場を提供し、親しみをもってもらうことをねらいとする。

内 容

9 時にピア・サポータ、ジャグリま専科メンバーが KU シンフォニーホールに集合し、各自担当にわかれ準備を始めた。KUSP メンバーが備品確認や動作確認を行った後、照明の配置を変えたり、音響の確認を行った。それぞれの確認と舞台設置が済むとリハーサルに入り、KUSP メンバーは音響、照明の操作にあたり、ジャグリま専科メンバーは演者として演技の練習をしたり、舞台指導を行い公演の質を高めていった。16 時前になると受付や誘導の人員配置をし、開場の準備を整えた。開場前には既に観客が並んでおり、開場とともに数十名来場した。16 時 30 分より開演した。17 時 30 分には終演し、観客が退場し終わると撤収作業を開始した。最終の機材確認の際に照明の備品のゼラ枠が 8 枚足りないことが発覚し、それから捜索にあたった。その日は撤収し、翌大学営業日に職員に報告した。ジャグリま専科と話し合い、紛失した備品について解決した。

感 想

他団体サークルと共同で行う企画であったが、うまく意思疎通をすることができ、公演自体は無事に終えることができた。目的であった「ジャグリま専科の学生に日頃の練習の成果を発揮できる場を提供すること」は達成できたと考える。しかし、備品を紛失してしまい多大な迷惑をかけてしまったことが問題点である。機材確認を 2 名以上で 2 回以上行い、使わない備品の保管場所を固定するなど今後 KU シンフォニーホールを使用する際には徹底して行い、今後このようなことがないようにする。

改善点

- ・ 備品を紛失した
 - 機材確認の担当者を 2 人にして固定し、確認を 2 回以上する
 - 備品を取り外す場合は保管場所を固定する
- ・ 貸し出し申請をしていた備品の個数について不備があった
 - 共催のサークルに申請する前に足りないものがないか再度確認する
- ・ リハーサル時間が足りなかった
 - スケジュール決定を早めに済ませ、練習時間を沢山とるようにする